



平成23年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 日東エフシー株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4033 URL <http://www.nittofc.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡邊 要  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)武田 聡 (TEL)052-661-4381  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第3四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	13,365	1.1	1,562	1.9	1,743	14.1	1,004	9.2
22年9月期第3四半期	13,217	△24.6	1,533	△36.3	1,527	△43.0	919	△46.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第3四半期	37 22	— —
22年9月期第3四半期	32 69	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第3四半期	46,071	38,705	84.0	1,434 36
22年9月期	43,786	38,161	87.2	1,414 20

(参考) 自己資本 23年9月期第3四半期 38,705百万円 22年9月期 38,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	— —	8 00	— —	8 00	16 00
23年9月期	— —	10 00	— —		
23年9月期(予想)				10 00	20 00

(注) 1. 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

2. 23年9月期第2四半期配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

23年9月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	2.0	1,630	△10.5	1,760	10.0	800	△13.1	29 65

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社（―）、除外 一社（―）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年9月期3Q	29,201,735株	22年9月期	29,201,735株
23年9月期3Q	2,217,144株	22年9月期	2,217,095株
23年9月期3Q	26,984,618株	22年9月期3Q	28,122,077株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国向輸出の増加や企業収益改善の兆しなど景気に一部持ち直しの動きが見られたものの、「東日本大震災」による社会インフラやサプライチェーン（供給連鎖管理）への深刻な被害に加え、「福島原発事故」による放射能汚染への不安、電力供給不足や風評被害などにより、先行きを見通せない状況となっております。

肥料業界におきましては、施肥節減の定着化や流通在庫圧縮により需要が低調に推移する中、昨年より導入された春肥、秋肥毎に価格を見直す年2期制により農家は価格動向に敏感となり、各社の競争は激化しております。これに加え、「東日本大震災」及び「福島原発事故」による農産物の生産や需要動向に及ぼす影響が懸念されています。

このような状況のもと、主力の肥料事業におきましては、技術指導等の付加サービスを伴う営業活動を推進するとともに、弾力的な価格対応により受注の拡大に努めてまいりました。

商社事業におきましては、取扱商品の国際市況と国内需要動向等を注視しつつ、受注の拡大と収益力の向上に努めてまいりました。

また、不動産賃貸事業につきましては賃貸物件毎の収益性や稼働率の向上を図り、その他事業ではホテル・運送・倉庫の各部門毎に収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は133億65百万円（前年同期比 1.1%増）、営業利益は15億62百万円（前年同期比 1.9%増）、経常利益は17億43百万円（前年同期比 14.1%増）、四半期純利益は10億4百万円（前年同期比 9.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの総資産は、前連結会計年度末に比べ22億84百万円増加し460億71百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が14億56百万円、有価証券が17億90百万円、たな卸資産が4億4百万円、現金及び預金が2億22百万円増加したことや、投資有価証券が12億9百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ17億40百万円増加し73億66百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が17億57百万円、未払法人税等が2億92百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が5億18百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億44百万円増加し387億5百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.0%（前連結会計年度末87.2%）となりました。

利益剰余金の変動状況につきましては、四半期純利益の計上により10億4百万円増加し、配当金の支払いにより4億85百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ5億18百万円増加し231億8百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億22百万円増加し、57億2百万円（前連結会計年度末比4.1%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、15億64百万円（前年同期比37.5%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益に減価償却費を加えた資金の源泉が21億3百万円、利息及び配当金の受取による資金の増加が72百万円、仕入債務の増加からたな卸資産の増加及び売上債権の増加を差し引いた資金の減少が1億41百万円、法人税等の支払により2億47百万円資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、8億20百万円（前年同期比79.7%増）となりました。これは主に、債券等の取得による支出が63億88百万円、債券等の償還及び売却等による収入が53億52百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、4億97百万円（前年同期比66.0%減）となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済の動向につきましては、「東日本大震災」及び「福島原発事故」による影響は計り知れず、先行きを見通せない状況となっております。当社グループの今後の企業活動におきまして、これらがどの程度の影響を及ぼすのか見積り難い状況にあります。

このため、通期の業績予想につきましては、平成22年11月12日に発表の当初予想を据え置きとし、合理的な見積りが可能となりました時点で対応させていただきます。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### ② 「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,702,390	5,479,681
受取手形及び売掛金	6,212,596	4,756,398
有価証券	5,189,661	3,398,787
商品及び製品	2,338,605	2,310,830
仕掛品	229,001	348,926
原材料及び貯蔵品	2,199,361	1,703,130
その他	479,559	440,436
貸倒引当金	△2,933	△3,432
流動資産合計	22,348,244	18,434,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,630,634	4,866,226
土地	13,692,424	13,692,431
その他(純額)	505,648	595,511
有形固定資産合計	18,828,707	19,154,169
無形固定資産		
のれん	3,144	—
その他	614,149	651,727
無形固定資産合計	617,294	651,727
投資その他の資産		
投資有価証券	3,279,834	4,488,944
その他	1,003,249	1,063,668
貸倒引当金	△5,599	△6,398
投資その他の資産合計	4,277,484	5,546,215
固定資産合計	23,723,485	25,352,111
資産合計	46,071,729	43,786,871

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,901,957	1,144,295
短期借入金	—	11,813
未払法人税等	413,276	120,411
賞与引当金	112,971	216,163
役員賞与引当金	—	15,000
その他	2,020,121	2,063,814
流動負債合計	5,448,328	3,571,498
固定負債		
退職給付引当金	26,515	31,230
役員退職慰労引当金	203,563	216,475
その他	1,687,658	1,806,103
固定負債合計	1,917,738	2,053,809
負債合計	7,366,066	5,625,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,410,675	7,410,675
資本剰余金	9,100,755	9,100,755
利益剰余金	23,108,921	22,590,389
自己株式	△1,099,958	△1,099,935
株主資本合計	38,520,393	38,001,884
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	185,270	159,678
繰延ヘッジ損益	△0	—
評価・換算差額等合計	185,270	159,678
純資産合計	38,705,663	38,161,563
負債純資産合計	46,071,729	43,786,871



## (2) 四半期連結損益計算書

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	13,217,842	13,365,948
売上原価	10,155,596	10,238,766
売上総利益	3,062,246	3,127,182
販売費及び一般管理費	1,528,684	1,564,768
営業利益	1,533,561	1,562,413
営業外収益		
受取利息	65,863	44,071
受取配当金	23,802	33,775
持分法による投資利益	38,978	55,526
為替差益	48,969	25,051
その他	63,307	59,218
営業外収益合計	240,923	217,643
営業外費用		
支払利息	44	39
デリバティブ評価損	244,298	31,925
その他	2,176	4,331
営業外費用合計	246,519	36,295
経常利益	1,527,965	1,743,760
特別利益		
固定資産売却益	1,655	825
投資有価証券売却益	15,283	1,810
退職給付制度一部終了益	—	74,928
その他	122	744
特別利益合計	17,060	78,309
特別損失		
固定資産売却損	2,601	14,563
固定資産廃棄損	6,237	6,069
テナント移転補償費	—	107,455
その他	—	324
特別損失合計	8,839	128,413
税金等調整前四半期純利益	1,536,186	1,693,656
法人税、住民税及び事業税	503,963	666,877
法人税等調整額	112,869	22,524
法人税等合計	616,833	689,401
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,004,255
四半期純利益	919,353	1,004,255

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,536,186	1,693,656
減価償却費	407,412	410,276
のれん償却額	—	3,144
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,556	△1,298
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△103,642	△103,191
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,500	△15,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,015	△4,714
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,135	△12,912
受取利息及び受取配当金	△89,666	△77,846
支払利息	44	39
持分法による投資損益 (△は益)	△38,978	△55,526
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15,283	△1,810
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,180,914	△1,495,170
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,088,926	△404,080
仕入債務の増減額 (△は減少)	98,098	1,757,662
前受金の増減額 (△は減少)	△22,920	△12,522
その他	421,468	59,227
小計	2,088,905	1,739,933
利息及び配当金の受取額	74,521	72,838
利息の支払額	△44	△39
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,024,989	△247,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,138,394	1,564,877
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△2,799,529	△6,085,443
有価証券の売却及び償還による収入	4,076,858	5,028,901
有形固定資産の取得による支出	△617,977	△73,422
有形固定資産の売却による収入	6,498	202,748
投資有価証券の取得による支出	△1,676,459	△302,803
投資有価証券の売却及び償還による収入	567,383	323,710
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	79,203
貸付けによる支出	—	△100,640
保険積立金の積立による支出	△2,081	△45,976
保険積立金の払戻による収入	—	140,088
その他	△11,277	13,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456,585	△820,511
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△11,813
自己株式の取得による支出	△901,244	△23
配当金の支払額	△561,793	△485,723
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,463,037	△497,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,395	△24,097
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△782,624	222,708
現金及び現金同等物の期首残高	5,618,306	5,479,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,835,681	5,702,390

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自平成22年10月1日至平成23年6月30日）

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年6月30日）

項目	肥料事業 (千円)	不動産等 事業(千円)	化学品 事業(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,647,737	1,222,348	2,347,756	13,217,842	(—)	13,217,842
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	165,984	—	165,984	(165,984)	—
計	9,647,737	1,388,332	2,347,756	13,383,826	(165,984)	13,217,842
営業利益	1,188,103	481,599	216,639	1,886,342	(352,780)	1,533,561

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分により肥料事業（化成肥料、配合肥料、ペレット肥料、液体肥料、水耕栽培専用肥料、過りん酸石灰、肥料用原料、その他肥料）、不動産等事業（オフィスビル、ビジネスホテル、倉庫・店舗・駐車場の賃貸、運輸・倉庫業）及び化学品事業（工業用原材料、その他）に分類しております。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業内容は、肥料の製造販売を行う肥料事業、化学品及び肥料の輸入販売を行う商社事業、不動産賃貸事業、他に関連する事業としてホテル事業、運送事業、倉庫事業を展開しております。したがって、当社の報告セグメントは、事業活動を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「肥料事業」、「商社事業」及び「不動産賃貸事業」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は、以下のとおりです。

「肥料事業」は、化成肥料、配合肥料、ペレット肥料、液体肥料、土壌改良材等の製造販売及び肥料用原料の輸入販売を行っております。「商社事業」は、工業用原料及び各種肥料の輸入販売を行っております。「不動産賃貸事業」は、オフィスビル、ショッピングセンター店舗、倉庫、駐車場の賃貸を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	肥料事業	商社事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,348,338	2,764,132	865,534	12,978,006	387,942	13,365,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,748	30,452	68,344	102,545	140,275	242,821
計	9,352,087	2,794,585	933,879	13,080,552	528,217	13,608,770
セグメント利益	1,238,777	230,762	443,195	1,912,734	97,201	2,009,936

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,912,734
「その他」の区分の利益	97,201
セグメント間取引消去	11,625
のれんの償却額	△3,144
全社費用(注)	△454,197
その他の調整額	△1,806
四半期連結損益計算書の営業利益	1,562,413

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。